

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館		■担当係	奉仕係
■評価事業名称	読書推進事業			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	402100 - 003	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	幼児から一般まで市民の読書の習慣化を涵養する。おはなし会・展示事業・体験「1日図書館司書」・こども映画会・読書のつどい・図書館ボランティア・図書館資料展と講演・読書ボランティアグループ発表交流会			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	おはなし会 (中・江・和)	乳幼児年間開催回数	開催回数 参加者数	「おはなし会・おはなし会SP」 開催数26回 参加者数693人 「工作教室(おはなし会と併せて開催)」 開催数4回 参加者数189人
04	展示事業	幼児・児童・一般	入場者数	「大型えほん展」 入場者数173人 「手づくり絵本展」 入場者数277人 「戦争の時代と岩手の人々」 入場者数144人 「文学賞受賞図書展」 入場者数219人 「本の掲示板」 展示数38件 「夏まつり展示」 入場者数カウントせず 「復興ポスター展」 入場者数カウントせず 「ミニテーマ展」 利用者カウントせず
07	図書館収蔵資料展と講演会	成人	収蔵資料展入場者数 講演会入場者数	図書館収蔵資料展「北上と戦争」 入場者数769人 資料展関連上映会「後藤野飛行場の建設」 入場者数240人
08	読書通帳	幼児・児童・一般		「読書通帳」 配布冊数 3200冊

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

09	体験1日図書館司書	小 高学年	開催数 体験者数	夏休み・冬休み2回開催 体験者9人
13	子ども映画会	小学校 低 幼児	開催数 入場者数	「子ども映画会・子ども映画会SP・移動映画会」 開催数21回 入場者数586人
14	読書のつどいほか	小学生 保護者	読書のつどい参加者 図書館探検隊参加者	「読書のつどい」参加者134人 「としょかんクラフト・キッズinサマー」参加者23人
15	絵本ふれあいボランティア・書架整理ボランティア	幼児	活動回数 延べ活動人数 利用者	「絵本ふれあいボランティア」 活動回数34回 活動登録人数7人 延べ活動人数52人 利用者252人 「書架整理ボランティア」 活動回数95回 活動登録人数9人 延べ活動人数150人
20	読書ボランティア発表交流会	読み聞かせボランティアグループ・学校図書館ボランティアグループ	参加者数	参加者数 48人
21	対面朗読	視覚障害者	開催回数 利用者数 音訳奉仕員数	開催回数0回
22	図書館クリスマスディスプレイ	中学生	開催回数 参加者数	開催回数1回 参加者数9人
23	貸出福袋	幼児・児童	開催回数 利用者数	開催回数1回 利用者数28人
24	BOOK救命隊	中学生	開催回数 参加者数	開催回数1回 参加者数9人
25	大人名画座ほか	一般	開催回数 入場者数	「大人名画座」 開催回数6回 入場者数374人 「ハーブコンサート」 開催回数1回 入場者数93人

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

26	健康劇で楽しく学ぶこころの健康ミニ講話	一般		開催回数1回 参加者数11人
----	---------------------	----	--	-------------------

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	218	287	1,716	291	
人件費	7,444	10,822	15,675	9,532	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,662	11,109	17,391	9,823	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	事業数	13事業	18事業(新5)	25事業(新5)	26事業(新1)	おはなし会、映画会等の事業数
02	開催数	200回	204回	213回	207回	各事業の開催回数の合計
03	事業の参加者数	2,208人	2,784人	3,622人	7,720人	各事業の参加者合計
04	1事業あたりコスト	589千円				
05	開催数当たりコスト	38千円				

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

新規事業については、利用者の声等を参考にしながら、ニーズにあったものを企画実施している。継続事業についても改善を加えながら行っている。

問題点・課題等

職員体制。図書館を利用しない市民への周知方法。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了